

令和5年9月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議席 番号	氏名	近 藤 千 鶴 議員	1 / 1
発言項目		要 旨		答弁者
1	太陽光発電設備の適正管理について	<p>(1) モジュール面積1,000㎡（出力50キロワット）以下の太陽光発電設備を設置する場合、農地転用以外、届出義務がない現状において、市として望まれる最適な運用や管理用法はどのようなものか。</p> <p>(2) 太陽光発電施設で問題や事故が発生した場合、責任を取る主体は明確にされているか。</p> <p>(3) 万が一、緊急時に所有者と連絡が取れない場合はどのような方針の下、どのような対応をするのか。</p> <p>(4) 自然災害や事故に際し、迅速かつ適切な対応が求められる。この点についてどのような緊急対応体制が整備されているのか。</p> <p>(5) 太陽光発電の普及を推進するためにも、市民を守るためにも、事故が起きた時の相談窓口を設置することを望むが、いかがか。</p> <p>(6) 新たな市独自の条例や誓約書又は行動計画やガイドラインを策定し、太陽光発電の安全性や持続性を高める取組を進めるべきと考えるが、いかがか。</p>		市長 副市長 関係部長
2	富士登山について	<p>本年度の富士登山者数は全体で約22万人で、富士宮口は49,000人であった。また遭難事故件数は63件、人数は70人であり、富士宮市の救急車出動件数は18件で、入山料の協力率は73.5%であった。今年度の登山は行動制限が解除されたことやインバウンドが戻り、マナー違反や無計画な登山がことさら多かったと聞いている。</p> <p>(1) 富士山の環境を守るための入山料の義務化や特定の期間や場所における登山者数の上限を設ける考えはあるか。</p> <p>(2) 救急車やヘリコプターの経費について、要請者の一部負担などの導入を考えているか。</p> <p>(3) マナー違反やごみの投棄等に対する罰金制度の導入やその他の措置を考えているのか。</p>		市長 関係部長
3	富士宮市プレミアム付商品券事業について	<p>先日、プレミアム付商品券事業について市民の方から手紙をいただいた。この事業に関する市民の疑問点について、以下質問する。</p> <p>(1) 3割の世帯が買えていない、もしくは買えない現実を市はどのように分析しているか。</p> <p>(2) 商品券の作成及び配布にかかるコストや環境負荷を考慮すると、この事業の効率性及び費用対効果について懸念するが、市の見解はいかがか。</p> <p>(3) 10,000円の購入費用が負担となり購入を控えている市民がいると聞いているが、市はどのように考えているのか。また、5,000円の商品券の販売を希望する市民もいるようだが、どうか。</p> <p>(4) 販売されなかった商品券に関して、これを抽選販売とするより、市民全体のための別の政策へ回してほしいという意見があるが、市はどのように考えているのか。</p>		市長 関係部長